鉾田市
洪水・津波ハザードマップ
Hokota City Deluge & Tsunami Hazard Map

我が家の防災メモ（災害の主な連絡先）

避難（集合）場所	
避難所	
緊急連絡先（親戚・知人等）	

	名前	生年月日	血液型	会社・学校等の住所	電話番号
家族の連絡先					

Web版ハザードマップ

鉾田市役所	〒311-1592 鉾田市鉾田1444番地1	電話番号 0291-33-2111
旭総合支所	〒311-1415 鉾田市造谷605番地3	電話番号 0291-37-1111
大洋総合支所	〒311-2103 鉾田市汲上2415番地5	電話番号 0291-39-3311

鉾田市

指定避難所・指定緊急避難場所

No.	名称	所在地	指定避難所	対象とする異常な現象の種類 洪水	土砂災害	津波
1	鉾田北中学校	上冨田1011番地1	○	○	○	○
2	鉾田南中学校	鉾田1469番地1	○	○		○
3	(旧)大和田小学校	大和田1018番地3		○	○	
4	(旧)当間小学校	当間2122番地6		○	○	
5	とくしゅくの杜	徳宿1261番地1	○	○	○	
6	(旧)舟木小学校	舟木1番地7		○	○	
7	(旧)鉾田小学校	鉾田986番地		○		
8	(旧)諏訪小学校	柏熊983番地		○	○	
9	(旧)大竹小学校	大竹990番地		○	○	○
10	(旧)青柳小学校	青柳2875番地		○	○	
11	鉾田幼稚園	鉾田1411番地3		○	○	
12	第一保育所	塔ヶ崎918番地		○	○	
13	第二保育所	鉾田148番地				
14	鉾田中央公民館	鉾田1444番地1	○	○	○	○
15	鉾田保健センター	鉾田1443番地	◎	○	○	○
16	ほっとパーク鉾田	当間220番地			○	
17	ともえ荘	当間228番地2	◎		○	○
18	鉾田北幼稚園	舟木211番地9		○	○	
19	旭中学校	造谷863番地5	○	○	○	○
20	旭北小学校	田崎3852番地		○	○	
21	旭西小学校	鹿田904番地5		○	○	
22	旭東小学校	荒地604番地		○	○	○
23	旭南小学校	桜山576番地16		○	○	○
24	旭幼稚園	玉田1047番地21		○	○	
25	旭公民館	造谷1141番地3	○	○	○	○
26	旭スポーツセンター	田崎616番地6		○	○	
27	鉾田市農業振興センター	子生378番地		○	○	○
28	冷水田園都市センター	冷水1086番地		○	○	○
29	とちぎ海浜自然の家	玉田336番地2		○	○	○
30	旭スポーツセンター多目的グランド	田崎616番地6		○	○	
31	上釜グランド	上釜87番地1		○	○	○
32	(旧)上島東小学校	汲上1734番地		○	○	○
33	(旧)上島西小学校	梶山1505番地1		○	○	
34	(旧)白鳥小学校	上沢14番地		○	○	○
35	(旧)白鳥西小学校	札925番地		○	○	
36	大洋中学校	大蔵1337番地1	○	○	○	○
37	つばさ幼稚園	上沢938番地18		○	○	
38	大洋公民館	汲上2601番地	○	○	○	○
39	中居運動場	中居1480番地1		○	○	
40	とっぷ・さんで大洋	上幡木1500番地2		○	○	
41	大洋保健センター	汲上2600番地4	◎	○	○	○
42	鹿島灘海浜公園	大竹390番地		○	○	○
43	旭保健センター	造谷605番地3	◎	○	○	○
44	鉾田北小学校	上冨田1011番地1	○	○	○	
45	鉾田南小学校	畑田1059番地1	○	○	○	
46	大洋武道館	大蔵1338番地1	○	○	○	
47	県立鉾田第一高等学校	鉾田1090番地2		○	○	
48	県立鉾田第二高等学校	鉾田1158番地		○		
49	大洋小学校	上沢922番地1	○	○	○	
50	鉾田南柔剣道場	鉾田1469番地	○	○		

※指定避難所の◎は、災害対策基本法施行令第20条の6第5号に規定する指定基準を満たした福祉避難所を指す。
　は、洪水・内水氾濫時には使用できません。

お問い合わせ　鉾田市 総務部 危機管理課　〒311-1592 茨城県鉾田市鉾田1444番地1
2024年3月発行　電話番号 0291-33-2111　E-mail：kikikanri@city.hokota.lg.jp

災害時の情報入手方法

鉾田市メール配信サービス

- インターネットから（HPへアクセスして登録）
  - PC・スマートフォン
    https://plus.sugumail.com/usr/hokota/home
  - フィーチャーフォン（ガラケー）
    https://m.sugumail.com/m/hokota/home
- 携帯電話から（空メールを送信して登録）
  t-hokota@sg-m.jp
- 鉾田市公式LINE
  QRを読み込んで友達追加
- 戸別受信機
  防災行政無線の放送内容を自宅で確認することができます。
  停電時に備え電池を用意しておきましょう。
  危機管理課　36-7145

Yahoo! 防災速報

気象庁HP

茨城県土木部雨量・河川水位情報

もしも被害にあってしまったら

災害ごみが発生してしまった場合のごみの受け入れ

旭地区 …… 大洗鉾田水戸環境組合 クリーンセンター
鉾田・大洋地区 …… 鉾田クリーンセンター
生活環境課　36-7486

家屋が被害をうけてしまったら

- 家屋が浸水被害にあってしまったら
  家屋の感染症対策のための消石灰・消毒液の配布
  生活環境課　36-7486
- り災証明書が必要になったら
  まずは、被害状況を写真に残します。
  市のHPで申請書類の確認をお願いします。
  税務課　36-7454

農作物等が被害をうけたら

損害保険の請求や、融資を受ける際に被災証明書が必要になる場合がありますので、商品や農作物、事業所、設備が被害を受けた場合には、写真を残し、被害の場所を記録に残しましょう。
農業振興課　36-7651
商工観光課　36-7655

災害により死亡・負傷又は住家に被害（床上・半壊以上）にあってしまったら

鉾田市より災害見舞金が支給されます。
社会福祉課　36-7920

マイ・タイムライン（避難行動計画）を作りましょう

マイ・タイムライン（避難行動計画）とは

災害に備えた「逃げ方」を考えておくことです。「いつ」・「誰が」・「何をするのか」を考えておくことで、災害時に慌てず行動する助けになります。

我が家のタイムライン　家

避難先（避難所、親戚宅、友人宅）	避難先までの移動手段	避難先までの移動時間

①避難先 ②移動手段 ③移動時間 を考える。

注意すべきこと	避難情報など	逃げ遅れないためにやるべきこと
台風が発生 台風が接近	【警戒レベル1】早期注意情報	◆テレビやラジオで台風情報を確認する ◆避難先、移動手段、移動時間を再確認する ◆避難しやすい服装に着替える ◆避難するときに持っていくものを確認する（チェックする） □飲料水 □食料品 □着替え □タオル □懐中電灯 □携帯ラジオ □電池 □携帯充電器 □通帳など貴重品 □マスク □ウェットティッシュ □
天気予報や気象庁が発表する情報に注意!!	【警戒レベル2】大雨・洪水注意報	避難時の持ち物を考える。
市町村が発令する避難情報に注意!!	【警戒レベル3】高齢者等避難発令	◆我が家が避難するタイミングは 警戒レベル3 ◆高齢者など避難に時間のかかる人は避難を始める ・どこに避難するか、家族や親戚に伝える （連絡先の電話番号：　　）
	【警戒レベル4】避難指示発令	点線に沿っていずれかを丸で囲む ◆我が家が避難するタイミングは 警戒レベル4 ◆危険な場所から全員避難 ・近所の人に声をかけて一緒に避難する （声をかける相手：　　）
	【警戒レベル5】緊急安全確保	避難 完了！

避難のタイミングを考える。
近所への声かけを考える。
目立つ場所に貼ってね!

避難の準備をしましょう

1 災害時の持ち出し品

すぐに避難できるように、最低限の持ち出し品を準備しておきましょう。
リュックサックなどに準備しておくのがお勧めです。

- □飲料水（500ml程度、1人1本ずつ）
- □非常食（ビスケット、チョコレート、バランス栄養食品など）
- □貴重品（現金、通帳、印鑑、保険証の写しなど）
- □携帯電話・スマートフォン（充電器、バッテリー）
- □医療品（おくすり手帳も）
- □手袋
- □ヘルメット
- □衣類（上着、下着）
- □雨具、防寒具
- □懐中電灯
- □携帯ラジオ
- □衛生用品（マスク、消毒液）
- □タオル、ハンカチ
- □歯磨きセット
- □ティッシュ
- □生理用品
- □

乳幼児	□離乳食	□粉ミルク	□液体ミルク	□おむつ	□おしりふき	
妊婦	□母子健康手帳	□脱脂綿	□ガーゼ	□新生児用品		
高齢者	□入れ歯	□介護食	□大人用おむつ	□＿＿＿＿	□＿＿＿＿	
その他	□眼鏡	□コンタクトレンズ	□補聴器	□＿＿＿＿		

2 避難場所と経路の確認

地図を見て、自宅からどこの避難所にどの道を通って行くか確認しましょう。安全に避難できる道なのか、確認しておくことが大切です。

3 避難する前に

避難する前に、親戚や知人に何処に避難するか伝えておきましょう。
また、電気のブレーカーを落として、ガスの元栓も閉めておきましょう。

4 避難時の注意

動きやすい服装で、出来れば複数人で避難しましょう。また、長靴に水が入ると歩きづらくなりますので、運動靴を履いて避難しましょう。

5 逃げ遅れたら

水が膝上まで深くなると歩いて避難するのは非常に危険です。
周辺の丈夫な建物の出来るだけ高い場所に避難して救助を待ちましょう。

避難情報について

- 鉾田市が発令する警戒レベル3又は警戒レベル4の避難情報で必ず避難しましょう。
- 国土交通省や気象庁等が発表する河川水位や雨の情報を参考に、自主的に早めの避難をしましょう。

避難情報等（警戒レベル） 警戒レベル	避難情報等	河川水位や雨の情報（警戒レベル相当情報） 防災気象情報（警戒レベル相当情報）	浸水の情報（河川）
5	緊急安全確保	5相当	氾濫発生情報 大雨特別警報
＜警戒レベル4までに必ず避難!＞			
4	避難指示	4相当	氾濫危険情報
3	高齢者等避難	3相当	氾濫警戒情報 洪水警報
2	大雨・洪水注意報	2相当	氾濫注意情報
1	早期注意情報		―

風水害時の避難行動では、自宅が危険性の高い場所にある場合は「立退き避難」を行うことが基本です。
高齢者等避難 が発令されたら高齢者や身体の不自由な方等が避難を開始、避難指示 が発令されたら全員が避難を開始・完了してください。

避難には、4つの行動 があります。

立退き避難

指定避難所	安全な親戚・知人宅	安全なホテル・旅館
自ら携行するもの ・マスク ・消毒液 ・体温計 ・スリッパ 等	普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。	通常の宿泊料が必要です。 事前に予約・確認しましょう。

立退き避難とは

浸水や家屋倒壊等のおそれがある場所から、安全な場所に移動することです。
ハザードマップ等で安全な場所かどうかを確認しましょう。

屋内安全確保（垂直避難）

3つの条件を満たしている場合

普段から十分な備蓄を行い、建物の安全性を確認して災害に備えましょう。

屋内安全確保の3つの条件

①家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない。
②浸水深より居室は高い。
③水が引くまでの間、十分な水・食料などの備えがある。

自助・共助・公助

自助・共助・公助の3つの連携の向上が、災害被害を軽減させます。
被災を自分自身の問題としてイメージすることが重要です。

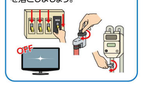
- 自　助……自分の命は自分で守る
- 共　助……自分たちの地域は自分たちで守る
- 公　助……行政や公的機関が取り組むこと

避難時の心得

情報の収集と自主的避難を
防災行政無線・テレビ・ラジオ・インターネットなどで最新の気象情報、避難情報に注意して、危険を感じたら自主的に避難しましょう。

お年寄りや身体の不自由な人、小さな子供を優先する
お年寄りや体の不自由な人は育負うなどして、一緒に避難しましょう。はぐれないようにお互いの体にロープを結んでおくと、子供連れでも安心できます。

避難する前に確認を
避難する前には ガス栓や ガスメーターを閉め、テレビなどのスイッチを消し、電気のブレーカーを落としましょう。



動きやすい格好、2人以上での避難
避難するときは、動きやすい格好で、2人以上での避難をこころがけましょう。

足元に注意を
くぼみや溝を確かめるため、長い棒などで足元の安全を確認しましょう。

徒歩で避難を
車での避難は渋滞すると動けなくなります。基本的には徒歩で避難しましょう。

2階以上へ避難を
外へ出ることが危険と感じた場合は、自宅や近くの建物の2階以上に避難し、水が引くのを待ちましょう。

履き物に注意する
運動靴が最適です。長靴は、水深が深いと中に水がたまるので動きにくくなります。素足は厳禁です。

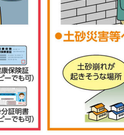
避難所での過ごし方

避難所では共同生活のルールを守りましょう。

避難所では、大勢の方で共同生活をしていただくことになります。浸水の状況によっては、避難所での生活が数日間に渡る場合もありますので、ルールを守りお互い協力して生活するよう心がけましょう。

避難所内では、係員の指示に従ってください。

避難所では食料、毛布等が用意されています。



洪水の状況に関する情報が、市により伝達されますので、落ち着いて情報を待ってください。

避難所から出るときには、必ず係員に伝えるようにしてください。

津波警報の種類ととるべき行動

津波情報・注意報の種類

種類	発表基準	発表される津波の高さ 数値での発表（予想される津波の高さ区分）	巨大地震の場合の発表	想定される被害ととるべき行動
大津波警報	予想される津波の最大波の高さが高いところで3mを超える場合。	10m超（10m＜予想される津波の最大波の高さ）	巨大	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
		10m（5m＜予想される津波の最大波の高さ≦10m）		
		5m（3m＜予想される津波の最大波の高さ≦5m）		
津波警報	予想される津波の最大波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合。	3m（1m＜予想される津波の最大波の高さ≦3m）	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波注意報	予想される津波の最大波の高さが高いところで0.2m以上、2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合。	1m（0.2m≦予想される津波の最大波の高さ≦1m）	（表記しない）	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。 海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。

北海道・三陸沖地震後発地震注意情報が発表されたら

日本海溝・千島海溝沿いの領域で、モーメントマグニチュード（Mw）7クラスの地震が発生した場合には、さらに大きな地震（後発地震）が発生する可能性があります。
後発地震の可能性が平時と比べ相対的に高くなった場合に後発地震注意情報が発表されます。発表された場合には、1週間程度、巨大地震に備え次のような防災行動をとりましょう。

【地震時に迅速な避難が必要な場合】揺れを感じたり、津波警報等が発表されたりした場合に、直ちに津波から避難できる態勢の準備

●すぐに避難できる態勢での就寝

●非常持出品の常時携帯

【リスクの高い場所にいる可能性がある場合】想定されるリスクからの身の安全を確保するための備え

●揺れによる倒壊への備え

●土砂災害等への注意

【後発地震に注意し、普段が実施すべき備え】地震発生時に確実に身を守る行動をとるための備え

●緊急情報の取得体制の確保

●平時からの備えの再確認